

Rotary International
2009~2010



ロータリーの未来は
あなたの手に

中村ロータリークラブ 週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 淨	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL (0880) 35-4551 FAX (0880) 35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2164

第2295回 平成22年4月21日(雲り)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 宮本昌博氏(四万十市参事)

4月28日のプログラム：新入会員スピーチ 嶋村晃会員

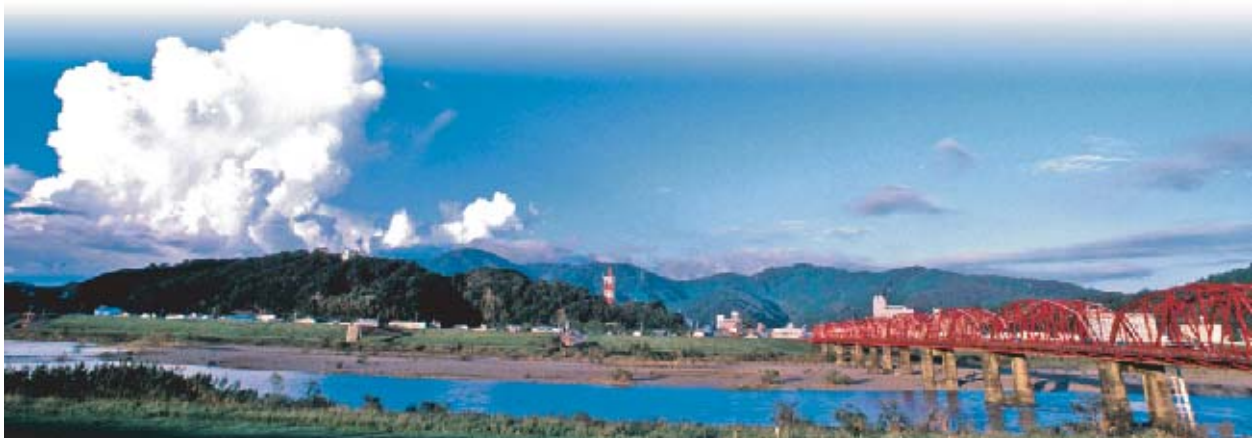
5月5日のプログラム：休会

【会長挨拶】佐竹会長

- ・先週の職場訪問例会は、渡辺委員長はじめ、職業奉仕委員会の皆さま、それに一藤会員には準備をしていただきご苦労さまでした。貴重な体験をさせていただきました。土佐清水通信隊は、国防はもちろん、地元・清水にもよく溶け込んだ活動をしていることを認識いたしました。
- ・個人的な話ですが、40年前、新入社員教育体験で、善通寺に体験入隊したことを思い出しました。
- ・昨夜(四万十RCの夜間例会に浦田さんから8人で出席、メイクアップしてきました。アットホームな楽しい時間を過ごさせていただきました。

【幹事報告】荒井幹事

- ・ガバナー事務所より
- ①5月のロータリーレート1ドル=92円
- ②09-10年度会員増強目標・表彰、会員増強推進計画の表彰要項
- ③「友」インターネット速報No.424、425
- ・ガバナーエレクト事務所より
- 10-11年度広報・IT委員会活動に関する確認と報告のお願い
- ・伊予三島ロータリークラブより
- 創立50周年記念誌拝受
- ・四万十市長 田中全氏より
- クラブ野球同好会からの「四万十清流保全基金」への寄付の礼状
- ・四万十市民憲章推進協議会より平成22年度総会開催案内 4月27日13時30分～



● 本日のプログラム

ゲストスピーチ 宮本昌博・四万十市参事

「四万十市の保健、医療、福祉の連携について」



皆さん、こんにちは。自治体は市の総合行政なので、さまざまなことをやっている。全ての分野に共通して重要なものは市民の命と健康。これはすべての基盤の基礎であると考えている。自分の健康だけでなく家族の健康が極めて重要だ。

市政の中で、命や健康にかかわる行政というのは年々大きくなっている。背景には高齢化などの要因がある。健康、福祉(介護)は、市の予算の4割を占め、職員数も4割が従事している。市役所本庁の一番大きな課は保健介護課となっている。

命と健康に関する現状はどうなっているのか。これは、数字で見ると一目瞭然で、全国統計の中での高知県の順位を見ると一。

平均寿命は男性77.93歳で全国44位。高知の男は早死だ。女性は85.87歳で21位。

基本検診の受診率は20.9%で全国ダントツの最下位。生活習慣病による死亡率は人口10万人当たり675.8人で全国3位。乳児死亡率も1千人当たり4.4%と、3年連続でワースト1位を記録している。

一方、医者数は10万人当たり263人で全国4位。看護師数は829人で全国1位。病床数も2445床で1位、このうちの療養病床も956床で1位。平均在院日数も53.8日で全国ダントツの1位。救急車の年間出動件数も、東京、大阪に次いで3位。この数字を言葉で表すと、「健康づくりに不熱心な割に生活習慣を改めることもなく、検診にも行かないで、挙げ句の果ては、救急車で病院に担ぎ込まれ、長期入院するも結果的に亡くなる」ということだ。このことから、高知の健康課題は、「医療供給体制の側」よりも、「医療をつかう側」にある場合が多いと思っている。高知県人の死亡原因は、がん(27%)、心疾患(16%)、脳血管疾患(14%)、肺炎(10%)で、70%程度を占める。がんの検診率は肺がんの26%を最高に、大腸がんや胃がん、乳がん、子宮がん検診は10—20%台で推移し受診率は高くない。

脳血管疾患の受療率は男性が全国2位、女性は全国1位。脳血管疾患による平均



在院日数も174日で全国2位。最下位の岐阜県の約3倍に上る。

四万十市の数値も高知県の平均値と似ている。四万十市としては、この現状を変えていきたいと思っている。それは(1)命と健康に関する市民の要望があり、齢化の中で客観的な特段の対策の必要性が高まっている(2)効率的な行政や市民負担の軽減を行うために、市民が健康で長生きすることが欠かせない——などの理由からだ。

今後の方向をどう考えていくか？ 保健・医療・福祉(介護)を別々のものとして、とらえるのではなく、一体のものとして考えていく必要がある。また、従来の保健予防は「早期発見、早期受診から始める」という姿勢だったが、これを普段から健康な体を維持していくという考え方に転換することが大切だ。今年3月に、健康増進計画を策定、方向転換して健康な体を維持していく個人と集団の力を大きくする取り組みを図っている。さらに、検診率の向上と検診内容の充実を図らねばならない。梶原町では、誘い合っただけで検診に行くことがシステム化されている。四万十市でも、こうした取り組みで受診率の向上につなげたい。

次に、医療についてですがなんと言っても急な病気への対応が重要だ。現在、幡多地域で24時間救急を行っているのは幡多

けんみん病院だけ。救急患者の6割を受け入れている。四万十市民病院が24時間救急をやめたのは3年前。医師が12人になった時だ。けんみんは今、約40人の医師がいるが、救急体制はぎりぎりで維持されている。幡多全体の力で守ることが重要で、医師会との共同も不可欠だ。

市民病院には、呼吸器内科があり、肺がん検査の呼吸器ファイバー検査ができる。糖尿病からの人工透析にも対応。とにかく、市民病院を特徴のある病院として維持していかないと、市民の医療は守れない。みんなで守っていくことが大切だ。

今は、医師が地域を選ぶ時代になっている。地域住民が素晴らしい、健康を守る意識が高い、自分たちは努力もしないで何かあれば医療にもたれかかるような地域でないことが重要で、北海道の江別市のように全国にそうした地域が出てきている。

中には「市長公約」を市民に責任転嫁するものではないかという意見もある。そんな小さな話でなく、市民の命と健康を守るために行政も市民も一緒になってやれることは何なのか？自治体行政の根幹にかかわる話として考えてほしい。



【理事会報告】 荒井幹事

チリ（地震）復興基金への寄付としてハイチと同様に贈る。今回はドル建て。1人5ドル（450円）、国際奉仕委員会から100ドル（9000円）を出す予定です。ご協力をお願いします。

【委員会・会員報告】

■一藤・親睦副委員長

荒井幹事からもお話しがあったように、今年に入ってから入会された新入会員4氏（池田道一、嶋村晃、佐田博、杉本整史の各氏）の歓迎会を開きます。4月30日の金曜日に、厨房わかまつで、6時半から予定しております。ご出席よろしくをお願いします。

【インフォメーション】

・中村RC主催の5クラブ親睦ゴルフコンペ…

4月25日（日）に土佐ユートピアCCで開催。中村RC会員は9時半集合。10時11分スタート。

・全国ロータリークラブ野球大会事務局より第28回大会組み合わせ等詳細
中村RC 6月18日（金）1回戦…第2試合 対千葉・成田コスモポリタンRC

【ニコニコ箱】

佐田会員：4月14日職場訪問欠席してすいませんでした。

岡田会員：2回連続して欠席し申しわけありません。昨日四万十ロータリーの例会に出席し、1回分取り戻しました。頑張ります。

明神会員：力不足の上に油断もありました。皆様にはいらぬご心配をかけましたが、今しばらくは仕事に頑張ってます。ありがとうございました。

【出席報告】

- ・会員総数/47名
- ・本日の出席/37名 78.72%
- ・先週の訂正 MU14 42.55%→72.34%



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとなることができます。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー